

第26回 ホテルゆがふいんおきなわ杯争奪国頭地区中学校軟式野球大会 大会要項(案)

1. 主催 株式会社 前田産業 ホテルゆがふいんおきなわ
2. 後援 沖縄県野球連盟北部支部 国頭教育事務所 沖縄タイムス社
3. 協賛 ナガセケンコー株式会社
4. 主管 国頭地区中学校体育連盟野球専門部
5. 期日 令和5年4月15日(土)・22日(土)・23(日) 予備日29日(土)
6. 会場 15日(土) タピックスタジアム名護・名護サブグラウンド【開会式】(1回戦)
22日(土) タピックスタジアム名護・名護サブグラウンド(準々決勝・準決勝)
23日(日) タピックスタジアム名護・名護サブグラウンド(決勝)【閉会式】
29日(土) タピックスタジアム名護・名護サブグラウンド
7. 参加資格 (1) 国頭地区内の中学校に在籍する生徒で編成されたチーム。なお、1校1チームとする。
(2) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
(3) 1チームは選手10名以上25名以内、監督1名、コーチ2名、記録員1名の計29名以内とする。
(4) 選手の引率、監督は出場校の校長・教職員・部活動指導員とする。教員以外のコーチについては学校長が認めた者で、地区・県に登録された者とする。但しベンチ入りについては1名のみとする。
(5) 参加資格の特例を認める。「沖縄県中体連大会開催基準8(7)複数校合同チーム」
(6) 参加にあたっては、各学校の服装・容儀規定を遵守し、基本的には各学校において指導を行う。
8. 競技規則 2022年度公認野球規則、2022年競技者必携及び大会特別規定に準じて行う。
【競技に関する連盟特別規則十七、少年部・学童部に関する事項2投球制限】の適用
9. 大会規定 (1) 競技形式
 - ① 試合方法はトーナメント方式とし各試合7イニングとする。
 - ② 得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。日没、降雨によるコールドゲームはなしとする。(全試合サスペンデットゲームを適用)
 - ③ 7回を終了して同点の場合は、8回からタイブレーク方式(特別延長戦)を行い、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
 - ④ 同日に1チーム3試合は行わない。(2) 試合時間
 - ① 試合は1時間30分と計算し、1時間前までには球場に到着していること。(3) オーダー交換
 - ① オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(記入・確認後速やかに提出)
 - ② 攻守の決定は前の試合の4回終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。(4) 用具
 - ① マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みを禁止する。
 - ② 手袋は、原則として「白」か「黒」色の高校野球対応のものを使用する。
 - ③ ストッキングの形をしっかりと統一する。
 - ④ 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。
 - ⑤ 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入りの捕手用ヘルメット、マスクを使用する。また、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップも使用すること。(投球練習時の控え捕手も同様) また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入った両側のイヤーフラップ(内側にスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。(5) タイムアウト
 - ① 監督が投手の所へ行く回数の制限
監督が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は

自動的に交代しなければならない。尚、その交代した投手が他の守備については、同一イニングには再び投手には戻れない。

② 守備側と攻撃側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。野手（捕手も含む）が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。

(6) ダッグアウト

- ① 抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。
- ② ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
- ③ ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。（ベンチ内1個とする。）

(7) その他

- ① チームの選手（監督・コーチ含む）は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、スパイクも同色とする。（監督・コーチのシューズも同様）【シューズ・スパイクにおいては令和5年度の県夏季総体まで色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。】コーチ（教職員）の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。
- ② 背番号は1～25番を使用し、原則としてポジション順とする。
- ③ 球場内でのグラウンドコートの着用はチームの統一されたものを着用すること。
- ④ アピールは当事者が監督に限る。
- ⑤ 試合中に起きた事故については応急処置のみとし、その後は各学校で責任を持って処置する。
- ⑥ 天候によっては試合時間を変更する場合もある。

10. 大会使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認球（ナガセケンコー・健康ボールM号）とする。

11. 表彰 (1) 優勝・・・優勝旗、優勝カップ、賞状、副賞
準優勝・・・準優勝カップ、賞状、副賞
3位・・・2校に賞状、副賞
個人賞・・・殊勲賞、敢闘賞、打撃賞1位・2位（賞状・記念盾・副賞）

12. 参加申込み (1) 令和5年4月7日（金）監督会時に申込書を提出すること。

13. 組合せ抽選
監督会 (1) 令和5年4月7日（金）17:00～ ホテルゆがふいんおきなわ

14. その他 (1) 成績上位校は、中体連夏季総体においてのシードポイントが加算される。
~~(2) 開会式当日、8時より「タピックススタジアム名護」にて監督会を行う。~~